

低温やけどにご注意！

内容 湯たんぽをカバーに入れて使っていたら、低温やけどを負った。

低温やけどとは

比較的低い温度(44℃～50℃)でも長時間にわたって皮膚の同じところに触れていると筋肉などが壊死するために「低温やけど」を負います。見た目は軽傷でも、内部の細胞組織の一部が潰瘍状態になっていることもあり、治療が長引くことも少なくありません。44℃では3～4時間以上、50℃では2～3分で「低温やけど」になるといわれています。

ひとこと助言

- ・湯たんぽや電気あんかは、厚手のタオルや専用のカバーなどで包んでも低温やけどを負うことがあります。就寝前に布団の中に入れて、温まったら湯たんぽを布団から出し、電気あんかはスイッチを切りましょう。
- ・電気カーペット・こたつ・カイロ・ノートパソコン・携帯電話などでも、低温やけどになるので、長時間、皮膚の同じ部位に触れないように注意してください。また、違和感や熱いと感じたら直ちに使用を中止しましょう。

小郡市消費生活相談室

- ▶ 窓口開設日
毎週月・火・木・金曜日
／午前9時～正午、
午後1時～4時
- ▶ 問合せ先
小郡市消費生活相談室
72-2111内線144



まちの話題

社会を明るくする運動 作文コンテスト



12月6日、第6回小郡市「社会を明るくする運動」作文コンテスト表彰式が行われました。式では最優秀賞を受賞された立石小の井上佳奈さんと小郡中の山内鉄也さんが作品の朗読を行いました。

入賞者は次の方々です。(敬称略)

(小学生の部)

- 最優秀賞 井上佳奈(立石小6年)
- 優秀賞 後藤彩乃(東野小6年) 岩松稔(小郡小5年)
- 奨励賞
橋詰つく詩(小郡小6年) 松藤李々花(小郡小6年)
松尾成美(大原小6年) 廣瀬朋輝(味坂小6年)

(中学生の部)

- 最優秀賞 山内鉄也(小郡中2年)
- 優秀賞
石見明日香(立石中2年) 井上未結(三国中1年)
中司夕雅(三国中1年)
- 奨励賞
田中星夏(小郡中3年) 松田京凡(小郡中2年)

多くの人に利用される 橋になるように



▲11月28日、平安市長から感謝状を受け取る
三浦勝輝くん(写真左)

平成25年秋に暫定供用される端間駅東の自歩道橋の名前を小郡・御原・味坂小学校の児童から募集した結果、三浦勝輝くん(御原小6年)の「満天橋」に決まりました。「満天橋」の名前は、小郡市は七夕神社があるなど、七夕にゆかりがあることから七夕の「天の川」と市内を流れる「宝満川」から一文字ずつ取って名付けられています。

三浦くんは「満天橋」について、「将来、端間駅周辺が小郡市の中心になって、多くの人に利用される橋になってほしい」と話されました。

この「満天橋」は端間橋が現在の場所より約200m南へ架けかえられることに伴い、歩行者や自転車の利便性を確保するために架けられます。